

大豆情報 H30 Vol. 3

H30.9.21

宮城県 石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612 Fax : 0225-95-2999

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin/n/

8月以降の気象経過

◆ 8月は多雨傾向

特に8月上旬は平年比396%と降水量が非常に多くなりました。気温は低温が続く日もありましたが概ね平年並。日照時間は中旬に平年比167%と長くなりましたが、下旬は67%と短くなりました。

表1 7~8月の旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差・比(アメダス石巻)

	平均気温(°C)		日照時間(h)		降水量(mm)	
	本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年比
7月上旬	22.6	2.7	47.2	116%	19.5	38%
7月中旬	24.8	3.6	45.5	107%	5.0	10%
7月下旬	25.2	2.4	58.6	104%	9.0	20%
8月上旬	24.2	0.5	59.2	102%	112.5	396%
8月中旬	23.6	0	88.3	167%	40.0	141%
8月下旬	23.9	0.7	37.9	67%	74.0	125%
9月上旬	22.0	-0.1	21.1	44%	49.0	144%

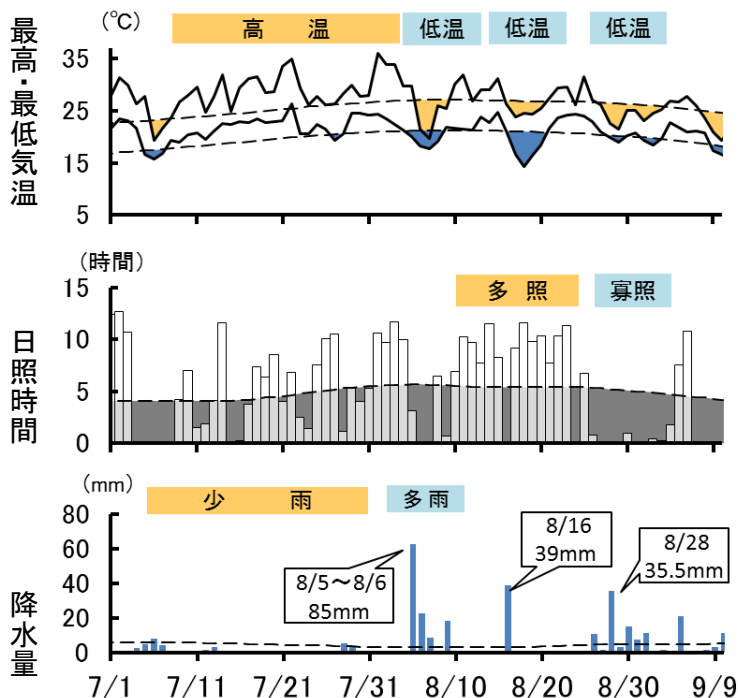


図1 7月以降の気象経過(アメダス石巻)

調査ほの生育状況(9月1日)

平年より㎡あたりの分枝数が少ない



表2 調査ほの8月10日及び9月1日調査結果

品種 (作型) 地点名(旧市町)	播種日 (月/日)	8月10日調査				9月1日調査				
		主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数		主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数		
				(本/本)	(本/㎡)			(本/本)	(本/㎡)	
タンレイ (普通) 広瀬(河南)	本年	6/17	63	14.1	1.8	21.3	68	14.9	2.9	34.4
	前年差・比	+3日	-1	+0.3	-0.2	72%	-2	+0.7	+1.2	137%
	平年差・比	+3日	+13	+1.3	-0.0	78%	+14	+1.3	+0.5	96%
タンレイ (麦あと) 水沼(石巻)	本年	6/12	68	13.6	2.9	39.0	74	14.5	2.8	37.7
	前年差・比	-4日	+14	+2.3	-0.3	95%	+15	+3.1	-0.4	92%
	平年差・比	-5日	+14	+1.4	+0.3	105%	+13	+1.3	-0.5	81%
タチナガハ (麦あと) 蛇田(石巻)	本年	6/07	49	13.5	2.8	27.7	53	13.3	2.7	26.4
	前年差・比	-17日	-4	+2.9	+1.9	237%	-26	-1.5	+0.9	113%
	平年差・比	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ミヤギシロメ (麦あと) 小船越(河北)	本年	6/25	49	12.5	2.3	22.0	88	16.2	3.2	30.2
	前年差・比	+5日	-21	-0.7	-0.2	82%	-16	+0.0	-0.3	80%
	平年差・比	+15日	-22	-1.9	-0.7	73%	-1	-0.6	-1.2	68%
ミヤギシロメ (麦あと) 牛田(桃生)	本年	6/25	52	11.6	2.3	20.7	94	16.2	4.4	38.9
	前年差・比	+11日	-8	-0.6	+0.4	93%	-1	-0.1	+1.6	119%
	平年差・比	+6日	-4	-0.7	+0.5	98%	+9	+0.2	+0.9	95%

※ 平年値：H25～H29の5か年平均。

※ タチナガハ(蛇田)は調査5年目のため、平年値はなし。

◆ 主茎長はタンレイにおいては平年を大きく上回った一方でミヤギシロメは平年並～やや大きくなりました。また、一部ほ場では8月の天候不順による蔓化・倒伏が見られました。

◆ すべてのほ場で1㎡当たりの分枝数は平年を下回っています。

◆ 一部ほ場において、8/5～6の大雨の影響で萎凋・枯死症状が散見されました。

除塩調査ほの生育状況(9月1日)



表3 除塩調査ほの9月1日調査結果

品種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日 (月/日)	9月1日調査			
			主茎長 (cm)	主茎節数 (節/株)	分枝数	
					(本/株)	(本/㎡)
ミヤギシロメ (普通)	針岡 (河北)	6/23	92.3	15.8	2.5	28.6
タンレイ (普通)	洲崎 (鳴瀬)	6/18	62.5	14.8	3.3	42.6

◆ 生育は概ね順調ですが、ミヤギシロメで蔓化・倒伏が見られます。

塩害による生育不良は確認されませんでした。

今後の管理

◆ 排水対策

◎ 今後も、排水溝や暗きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、地表排水の効果を高めるために、枕地の畦を切って溝を作り、排水溝につなげましょう。

◆ 雑草対策

◎ 9月以降多くの雑草が開花して種子をつけ始めるため、イヌホオズキやアレチウリなどの難防除雑草の多いほ場では、早めに除草を行いましょ。

◎ タデ類やアメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草は、コンバイン収穫時に汚粒の原因となります。**雑草が種子を作らないうち**に手取り除草を行いましょ。

◎ 大豆落葉終期～収穫14日前まではラウンドアップマックスロード(非選択性除草剤)による除草が可能ですが、大型雑草は茎や果実の水分が低下しにくく、汚粒の原因となる場合があるので、手取り除草を行いましょ。

◆ 病虫害対策

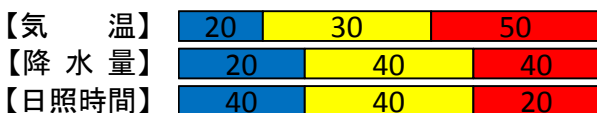
◎ ベと病の発生量は「**やや多**」の予想です。発生が多い場合には、防除を行いましょ。また、ベと病菌は罹病植物上で卵胞子を形成して越冬するので、**大豆の残さを深くすき込んで、次年度以降の発生を抑制**しましょ。

東北地方 1か月予報 (9/22~10/21)

仙台管区气象台 9月20日発表

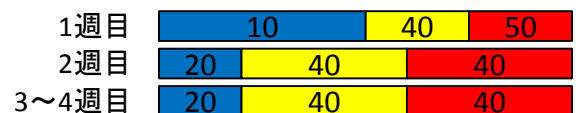
天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

○1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

○週別気温経過の各階級の確率(%)



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い